

令和2年度

まちの予算について

～財政状況と予算概要～



令和元年度に熊野の清水の参道を整備しました

予算とは？

新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年の3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにどのような行政サービスを行うのかを計画し、そのために必要な費用を見積もります。

これらの内容をまとめたものが予算書となり、これを町議会で審議して予算を決定します。

令和2年度の予算総額は 78億535万円

一般会計、特別会計と公営企業会計の予算を合わせると、78億535万円になります。

○ 一般会計（42億9,100万円）

福祉・教育・道路整備など、基本的な行政サービスを行うための予算です。

主な収入は、町税、地方交付税、国・県支出金、地方債（町の借金）などです。

○ 特別会計（25億8,220万円）

特定の目的の事業を行うための予算で、国民健康保険税や農業集落排水事業の使用料などの特定収入があり、一般会計と区別して経理する予算です。

長南町では、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、笠森霊園事業、農業集落排水事業の5つの特別会計があります。

○ 公営企業会計（9億3,215万円）

民間企業と同じように事業を行い、収益をあげて運営している予算です。

長南町ではガス事業会計があります。収益的収入及び支出は、ガスを利用者に供給するために要した経費を表わし、資本的収入及び支出は、ガス事業のために使用する施設やガス管の敷設などの工事に要した経費を表わしています。

■ 会計別当初予算

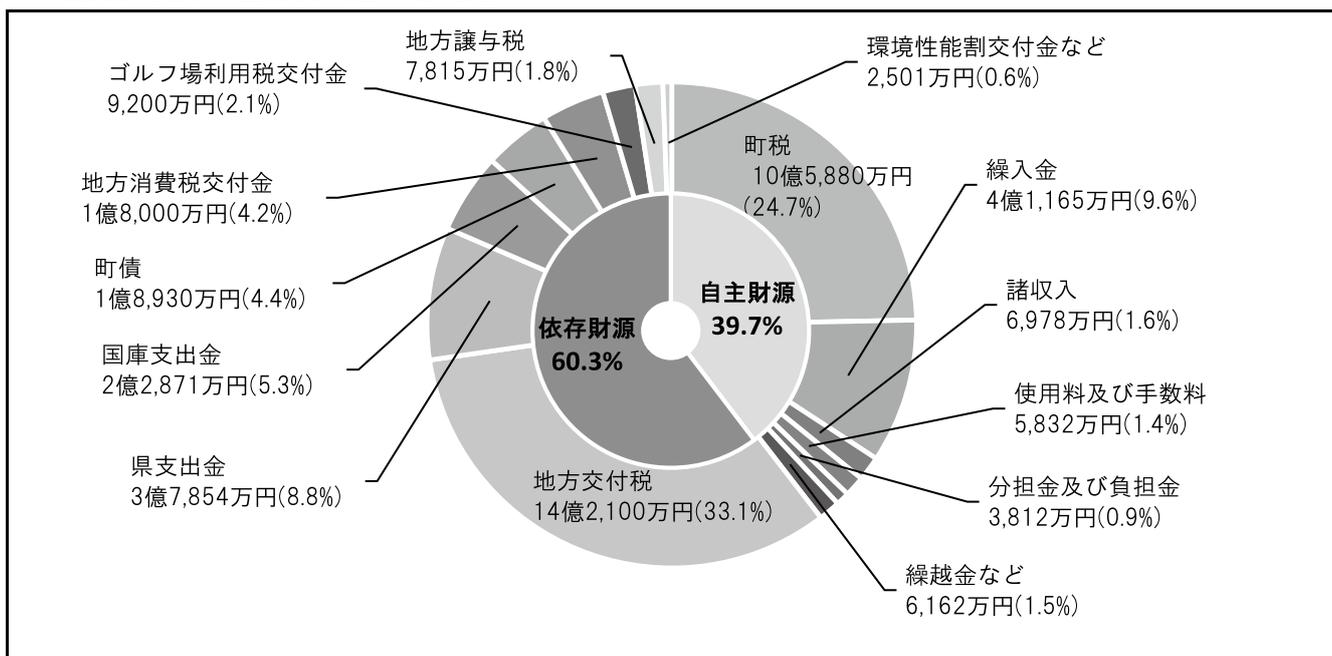
会 計 名		令和2年度	令和元年度	増 減 額	増減率	
一 般 会 計		42億9,100万円	43億6,500万円	△7,400万円	△1.7 %	
特 別 会 計	国民健康保険	11億700万円	11億2,810万円	△2,110万円	△1.9 %	
	後期高齢者医療	1億2,920万円	1億1,780万円	1,140万円	9.7 %	
	介 護 保 険	10億5,100万円	10億4,100万円	1,000万円	1.0 %	
	笠森霊園事業	7,200万円	5,720万円	1,480万円	25.9 %	
	農業集落排水事業	2億2,300万円	2億1,570万円	730万円	3.4 %	
公 営 企 業 会 計	ガ ス 事 業	収益的収入	7億1,576万円	6億8,870万円	2,706万円	3.9 %
		収益的支出	7億532万円	6億8,464万円	2,068万円	3.0 %
		資本的収入	5,411万円	5,066万円	345万円	6.8 %
		資本的支出	2億2,683万円	2億2,068万円	614万円	2.8 %

< 令和元年度の災害復旧事業費について >

町では、昨年の台風15号・台風19号・10月25日豪雨により発生した災害の復旧事業に取り組んでいますが、この災害は被災箇所がとても多く、令和元年度中にすべての復旧事業を完了できませんでした。そのため災害復旧に係る令和元年度予算の一部を令和2年度に繰越して引き続き復旧事業に取り組んでまいります。

令和2年度に繰越しを設定した災害復旧費は、8億3,137万円です。

一般会計【歳入】予算



◎歳入予算の前年度からの主な増減内容

- 地方交付税は、幼児教育・保育の無償化に係る増分などにより前年度比2,400万円の増額 (+1.7%)
- 繰入金は、財政調整基金、地域農業推進基金の増により前年度比5,790万円の増額 (+16.4%)
- 町債は、土木債及び臨時財政対策債の減により前年度比6,140万円の減額 (△24.5%)

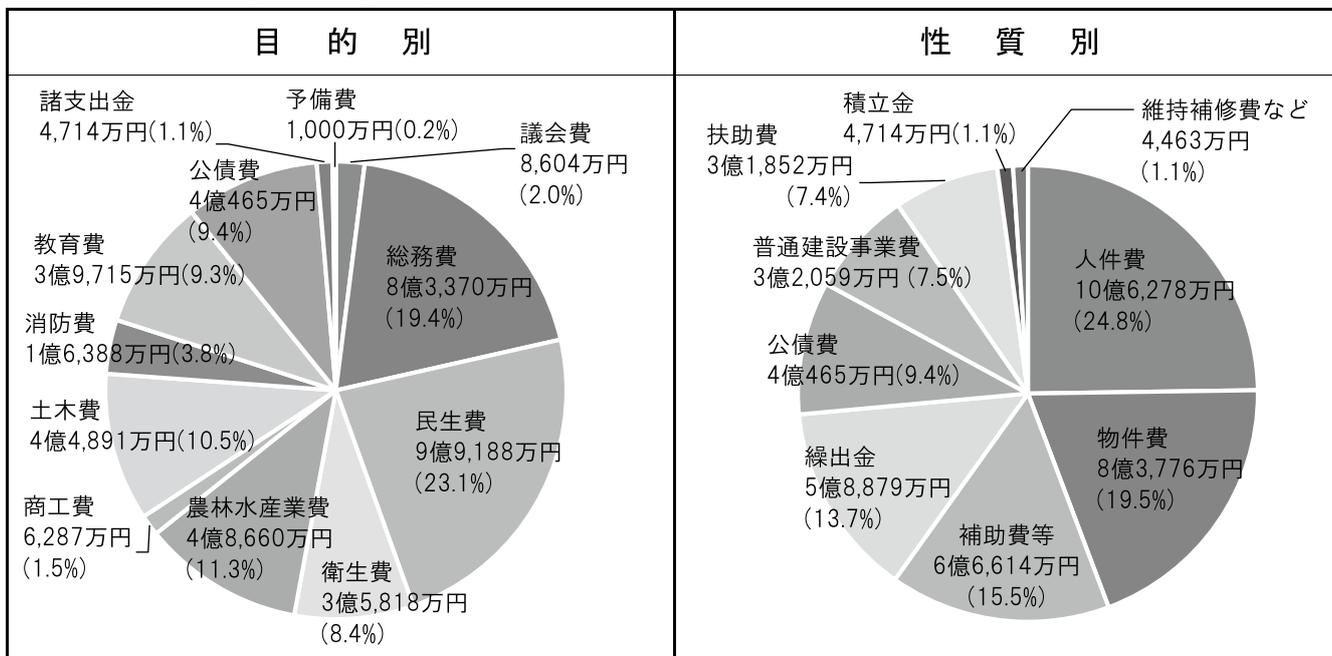
自主財源

町が自主的に調達できる財源です。

依存財源

国や県から交付されたり、割り当てられる財源や、町債(借金)による財源です。

一般会計【歳出】予算



◎目的別歳出予算の前年度からの主な増減内容

- 衛生費は、笠森霊園事業特別会計への繰出金などの増により前年度比2,207万円増額 (+6.6%)
- 土木費は、橋梁修繕工事費の減などにより、前年度比1億3,938万円の減額 (△23.7%)
- 教育費は、学校施設等の長寿命化計画策定事業などの増により2,173万円の増額 (+5.8%)

◎性質別歳出予算の前年度からの主な増減内容

- 人件費は、職員数及び期末手当の支給率の増などにより前年度比6,579万円の増額 (+6.6%)
- 物件費は、地籍調査事業量の減などにより前年度比9,299万円の減額 (△10.0%)
- 普通建設事業費は、橋梁修繕工事費の減により前年度比1億5,662万円の減額 (△32.8%)

令和2年度 歳出予算の主な内容（一般会計 目的別）

☆印は令和元年度予算にはない新たな経費

議会費

8,604万円

議会の活動に要する経費で主に議員の報酬、会議録や議会だよりの作成などの経費です。

●議員報酬、期末手当など（13人分）	6,098万円	●議会だより発行に関する経費	94万円
●議会会議録作成に関する経費	134万円	●各種負担金など	121万円
議会費における人件費		1,960万円	

総務費

8億3,370万円

企画調整、財務・財産管理、広報、戸籍、税務、選挙のほか庁舎管理など役場の全般的な経費で主なものは次のとおりです。

●区長、区長代理者報償（55人分）	1,069万円	●例規（条例・規則・要綱等）システムに関する経費	254万円
●役場宿日直業務に関する経費	837万円	●庁舎の維持管理に関する経費	2,446万円
●庁舎内LANに関する経費	3,123万円	●LGWAN（行政機関専用のコンピュータネットワーク）に関する経費	302万円
●交通安全施設（道路標識等）の管理に関する経費	400万円	●防災行政無線の維持管理に関する経費	720万円
☆国土強靱化地域合同計画策定に関する経費	450万円	●自主防災組織補助金	133万円
●広報ちょうなん発行に関する経費	475万円	☆第5次総合計画策定に関する経費	337万円
☆第2次総合戦略策定に関する経費	200万円	●長南フェスティバルに関する経費	401万円
●巡回バス、乗合タクシーの運行経費	2,011万円	●地域おこし協力隊員に関する経費（2人分）	634万円
●若者定住促進奨励金	1,500万円	☆令和2年国勢調査に関する経費	364万円
●ふるさと納税に関する経費（お礼の品など）	514万円	●地デジ対策に関する経費（無線・有線）	2,149万円
●税務システムに関する経費	2,620万円	●住民記録、戸籍システムに関する経費	2,392万円
☆千葉県知事選挙に関する経費	775万円	●広域組合と総合事務組合への負担金	1億4,581万円
総務費における人件費（町長の人件費含む）		2億9,218万円	

民生費

9億9,188万円

社会福祉、障害福祉、老人、児童などの社会保障の経費で主なものは次のとおりです。

●国民健康保険特別会計への繰出金	7,918万円	●介護保険特別会計への繰出金	1億7,038万円
●後期高齢者医療特別会計への繰出金	3,373万円	●後期高齢者医療給付費、広域連合事務に関する経費	1億1,956万円
●地域生活支援事業に関する経費	865万円	●ふれあい事業に関する経費	125万円
●介護予防支援、ケアマネジメント作成に関する経費	411万円	●結核・精神病医療費助成に関する経費	252万円
●障害福祉サービスに関する経費（介護・訓練等給付）	1億5,342万円	●障害者自立支援医療費に関する経費	78万円
●重度心身障害者（児）医療費助成に関する経費	1,896万円	●障害児施設給付費に関する経費	1,356万円
☆障がい者計画等策定に関する経費	128万円	●町社会福祉協議会へ運営などに対する補助金	1,860万円
●長寿祝金	236万円	●老人保護措置に関する経費	1,200万円
●老人クラブ活動に対する補助金	139万円	●シルバー人材センター事業の運営に対する補助金	170万円
●集会施設整備事業に対する補助金	50万円	●出産祝金（1人あたり10万円、第3子以降30万円）	390万円
●放課後児童クラブ事業に関する経費	466万円	●子育て交流館維持管理に関する経費	439万円
●児童手当	7,090万円	☆私立幼稚園等施設利用給付費	714万円
●保育所の児童給食に関する経費	1,300万円	●保育所の教材費、英語指導に関する経費	171万円
●保育所の維持管理に関する経費	759万円	●保育所送迎バス運行経費	1,373万円
☆災害救助（応急住宅修理）に関する経費	1,190万円	●広域組合への負担金（障害区分認定審査会関係）	42万円

民生費における人件費 1億8,958万円



園庭で遊ぶ園児（保育所）

衛生費

3億5,818万円

健康管理などの保健衛生や、ごみ処理、公害対策など生活環境を保持するための経費で主なものは次のとおりです。

●広域水道会計負担金	2,595万円	●広域病院事業会計負担金 (長生病院に関する経費)	3,967万円
●広域火葬場・斎場事業負担金 (長南聖苑に関する経費)	1,548万円	●広域衛生費負担金 (保健衛生・ごみ処理関係)	8,548万円
●健康管理システムに関する経費	404万円	●結核検診に関する経費	126万円
●予防接種に関する経費 (★子どもインフルエンザ予防接種費の助成事業を追加しました)	2,462万円	●妊婦・乳児健康診査に関する経費	527万円
●子ども(高校生等含む)医療費扶助に関する経費	2,698万円	●乳児相談、1歳半・3歳児健診等に関する経費	190万円
●健康運動教室に関する経費	145万円	●がん検診等に関する経費	1,540万円
●青年・後期高齢者健康診査等に関する経費	1,101万円	●環境美化に関する経費	116万円
●水質調査等に関する経費	238万円	●合併処理浄化槽設置整備補助金	582万円
●住宅用省エネルギー設備等設置補助金	136万円	★笠森霊園事業特別会計繰出金	2,100万円

衛生費における人件費 5,071万円

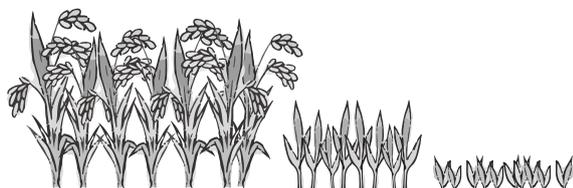
農林水産業費

4億8,660万円

農業委員会の運営や農林業の振興、土地改良などの経費で主なものは次のとおりです。

●農業委員(8人)、農地利用最適化推進委員(11人)報酬	777万円	●鳥獣被害防止、駆除対策に関する経費	1,801万円
●経営規模拡大農地集積奨励補助金	1,449万円	●地域農業整備事業補助金	6,715万円
●農業次世代人材投資資金	150万円	●土地改良施設の維持管理の適正化に関する経費	2,347万円
●多面的機能支払に関する経費	4,604万円	★県営長南東部地区土地改良事業に係る負担金	713万円
●農業集落排水事業特別会計への繰出金	1億7,400万円	●農村環境改善センターの維持管理・運営に関する経費	1,024万円

農林水産業費における人件費 8,239万円



商工費

6,287万円

商工業の振興、観光などにかかる経費で主なものは次のとおりです。

●長南工業団地内公園等の維持管理に関する経費 326万円

●町観光PR、ゴルフ場キャパシティ事業などに関する経費 380万円

☆野見金公園駐車場整備に関する経費 1,584万円

●観光協会への補助金 360万円

商工費における人件費 1,805万円

●町商工会運営費補助金 360万円

●観光施設維持管理経費（野見金公園・熊野の清水公園など） 1,284万円



野見金公園駐車場の整備予定地
(舗装面積：1,988㎡ 駐車台数：48台)

土木費

4億4,891万円

道路や河川などの整備、維持管理などにかかる経費で主なものは次のとおりです。

●町道などの道路照明電気料 155万円

●地籍調査事業に関する経費 1億9,038万円

●道路維持、修繕工事、舗装本復旧などに関する経費 4,388万円

●河川の維持管理に関する経費 400万円

●町営住宅（長南・豊原）の維持管理などに関する経費 181万円

●住宅の耐震診断・耐震改修・リフォームに関する経費 408万円

☆被災住宅の修繕支援に関する経費（一部損壊家屋） 500万円

土木費における人件費 4,968万円

●町道の道路台帳整備に関する経費 539万円

●道路愛護・川をきれいにする運動事業に関する経費 302万円

●道路改良工事などに関する経費 7,272万円

●橋梁維持、修繕工事などに関する経費 5,956万円



令和2年度に道路改良工事を実施する町道利根里線(坂本地先)

消防費

1億6,388万円

長生郡市広域市町村圏組合の消防署や消防団の活動などにかかる経費です。

●広域消防費負担金（消防署, 消防団関係） 1億6,388万円

教育費

3億9,715万円

教育委員会の運営、教育施設の建設や維持管理、学校教育、生涯学習にかかる経費で主なものは次のとおりです。

●教育委員報酬（4人分）	134万円	●学校運営協議会委員報酬（15人分）	24万円
●学習支援指導員（6人分）・教科指導員（1人分）報酬	1,225万円	●土曜塾実施に関する経費	46万円
●体験活動インストラクター・学習支援コーディネーター報償	218万円	●東京家政大学との交流事業に関する経費（小学校）	31万円
●キラ輝く長南っ子事業補助金（特色ある教育活動への補助）	250万円	●学校医、薬剤師等に係る経費（小・中学校）	133万円
●海外交流研修事業に関する経費	476万円	☆学校等施設長寿命化計画の作成に関する経費	429万円
●教育費負担軽減補助金	172万円	●スクールバスの運行経費（小学校）	4,133万円
●ICT推進事業に係るパソコンリース料（小・中学校）	2,863万円	●国際理解教育指導（小）・英語指導助手（中）に関する経費	756万円
●就学援助費（小・中学校）	386万円	●小・中学校の施設維持管理に関する経費	2,314万円
●成人式、七歳児合同祝、各種教室などに関する経費	202万円	●公民館の日直等に関する経費	163万円
●公民館の維持管理に関する経費	779万円	●文化財保護に関する経費	258万円
●海洋センターの日直等に関する経費	258万円	●講師謝礼金（スポーツ少年団、武道教室など）	44万円
●プール監視、水泳教室指導などに関する経費	661万円	●体育協会への補助金（運営経費など）	300万円
●給食施設運営（給食食材など含む）に関する経費	5,973万円	●広域教育費負担金	171万円

教育費における人件費（教育長の人件費含む） 1億5,511万円

公債費

4億465万円

町が借り入れた町債の返済にかかる経費です。

●借入金の返済（元金・利子）	4億465万円
----------------	---------

諸支出金

4,714万円

他の支出科目に含まれない経費をまとめたもので、普通財産の取得や基金への積立などの経費です。

●財政調整基金など各種基金への積立に要する経費	4,714万円
-------------------------	---------

一般会計予算の総額

42億9,100万円

国民健康保険特別会計

11億700万円

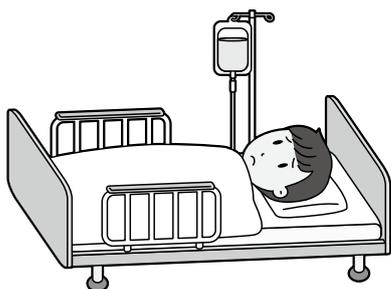
国民健康保険は、病気やケガに備えて加入者が保険税を納め、万一のときの医療費などにあてる「助け合い」の制度です。

職場の社会保険に加入している人とその扶養家族、後期高齢者医療制度の被保険者および生活保護を受けている世帯の人以外は、国民健康保険に加入しなければなりません。

令和2年2月末現在の被保険者数は2,174人、1,385世帯で、主な経費は次のとおりです。

なお、今までは町が国民健康保険を運営してきましたが、平成30年4月から県と町が一緒に運営しています。

●医療給付事業に関する経費 8億95万円



●特定健康診査など保健事業に関する経費 2,848万円

●国民健康保険事業費納付金（県へ支払う納付金） 2億4,042万円

●人件費、委託料、リース料などの経費 3,405万円

●その他の経費 310万円

後期高齢者医療特別会計

1億2,920万円

75歳以上の人（一定の障害のある人は65歳以上）は、これまで加入していた保険（国民健康保険・職場の健康保険・共済組合・船員保険）から脱退し、新たに後期高齢者医療制度に加入します。

この事業では、運営主体の千葉県後期高齢者医療広域連合への負担金、人間ドック助成金を支払います。

●千葉県後期高齢者医療広域連合への納付に関する経費 1億2,343万円

●人間ドックの助成に関する経費 308万円

●その他事務経費 269万円

介護保険特別会計

10億5,100万円

介護保険は、介護を必要とする高齢者の増加や核家族の進行のなか、40歳以上の方から介護保険料をご負担いただき、介護を社会全体で支える制度です。加齢による病気等で介護や日常生活の支援が必要となった場合に、その人が持つ心身の能力を活かし、自立した日常生活を営めるように、必要なサービスを総合的・一体的に提供するために必要な経費で、主なものは次のとおりです。

●介護保険給付に関する経費 9億7,367万円

●地域支援事業に関する経費 4,426万円

●総務費に関する経費（人件費・委託料・使用料など） 3,107万円

●その他の経費 200万円



元気教室（一般介護予防事業）

笠森霊園事業特別会計

7,200万円

町営笠森霊園は、墓所管理に係る事務と施設の維持管理を行っています。園内の清掃作業は、笠森霊園管理事業組合に委託し、景観の保全や施設の整備など利便性の向上に努めています。主なものは次のとおりです。

●墓所管理事務に関する経費	3,286万円
●園内の清掃作業に関する経費	1,587万円
●園内の施設維持管理に関する経費	2,327万円



笠森霊園内の風景

農業集落排水事業特別会計

2億2,300万円

農業集落排水事業は現在、豊栄東部地区、芝原地区、給田地区の3地区で供用しています。各家庭からの生活排水を処理場で浄化し、きれいな水にして川に放流しています。

また、発生した汚泥については肥料化して農地還元を図っています。財源については、使用者からの使用料や一般会計からの繰入金で運営しています。

●処理施設修繕・光熱水費などの経費	1,954万円	●借入金の返済(元金・利子)	1億6,364万円
●処理施設維持管理に関する経費	1,662万円	●管路施設維持等工事費	100万円
●その他の経費	726万円	☆施設の機能診断及び最適整備構想策定に関する経費	1,065万円
●人件費等	429万円		

ガス事業会計

収益的収入	7億1,576万円	資本的収入	5,411万円
収益的支出	7億 532万円	資本的支出	2億2,683万円

長南町・睦沢町に都市ガスを供給しています。皆さまのガス料金を財源に安心安全なガスの供給に努めます。主な経費は次のとおりです。

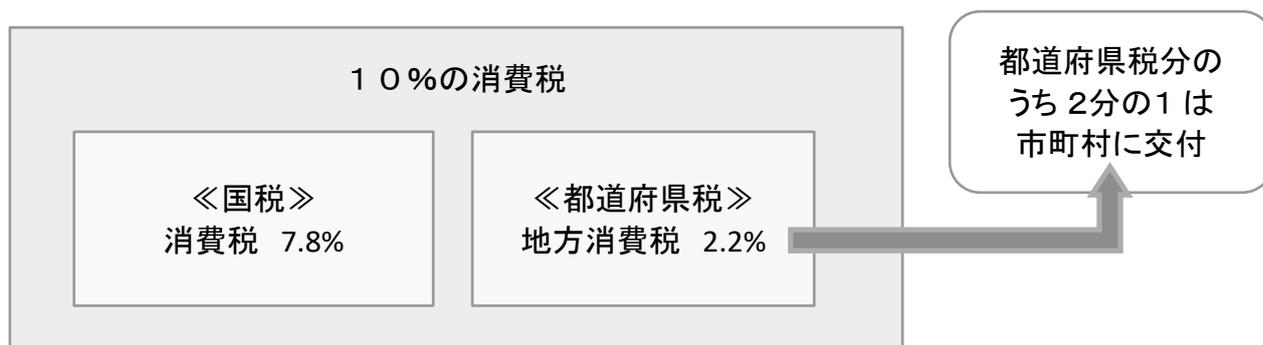
●天然ガスの仕入	3億7,896万円	●修繕費	1,044万円
●本支管等の工事費	1億2,013万円	●メーターの検針や点検などの外部委託費	3,809万円
●宅内工事費	1,944万円	●借入金の返済(元金・利子)	4,209万円
●一般会計等への工事負担金	4,138万円	●その他の経費	8,021万円
●減価償却費	1億4,665万円	●人件費	5,476万円

消費税・地方消費税率の引き上げ

急速に進展する少子高齢化の中で、国民の誰もが安心して暮らすことができるよう国と地方が担っている社会保障の財源を安定して確保するため、消費税・地方消費税の税率が平成26年4月1日から「8%」に、令和元年10月1日から「10%」に引き上げられました。

1 地方消費税とは

地方消費税は、国税である消費税と同様に、事業として行った商品の販売、サービスの提供等の国内取引や外国貨物の引取りに対して課税される都道府県税ですが、その税収の2分の1は市町村に地方消費税交付金として交付されます。地方消費税は、都道府県と市町村の貴重な財源として身近な行政にいかされています。「10%の消費税」と言われているものは、消費税（国税）の7.8%分と地方消費税（都道府県税）の2.2%分を合計したものを指します。



2 引上げ分の消費税収入の使途の明確化

引上げ分の国分の消費税収入については、毎年度、制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費（社会保障4経費）に充てるものとされ、また、引上げ分の都道府県税分の地方消費税収入（市町村への交付金を含む。）については、社会保障4経費及びその他社会保障施策（社会福祉、保健衛生及び社会保険に関する施策）に要する経費に充てられます。

令和2年度長南町一般会計予算における地方消費税交付金の予算額は1億8,000万円で、このうち6,912万円が引上げ分の増収分と見込んでいます。

●令和2年度一般会計予算における社会保障施策経費への充当内容

区 分	令和2年度 予算	財 源 内 訳			
		特定財源		一般財源	
		国・県支出金	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他
社会福祉 (障がい者・高齢者・ 児童福祉等)	3億9,235万円	2億723万円	2,559万円	1,805万円	1億4,148万円
保健衛生 (健康増進、母子保健等)	1億5,371万円	911万円	1,900万円	1,421万円	1億1,139万円
社会保険 (国保・介護保険等)	4億286万円	6,715万円	1,000万円	3,686万円	2億8,885万円
合 計	9億4,892万円	2億8,349万円	5,459万円	6,912万円	5億4,172万円

■ 町の貯金（基金の状況） ※金額は令和元年度末現在の基金残高

基 財 政 調 整 金	一般会計分	9億6,560万円	災害復旧や地方債の繰上償還など、財源に不足が生じたときの財源を積み立てておくための基金です。
	笠森霊園事業特別会計分	2,528万円	笠森霊園事業の運営に関する財源に不足が生じた場合に、調整するための基金です。
減債基金		2,990万円	町債（借金）の返済に必要な財源を確保し、将来的に町の財政を健全に運営するための基金です。
そ の 他 特 定 目 的 基 金	地域づくり基金	2,856万円	地域づくりを円滑に推進し、将来のまちづくりに有効活用するための基金です。
	福祉振興基金	3,684万円	福祉活動の促進と快適な生活環境を築くための基金です。
	地域農業推進基金	1億6,604万円	全農家参加型地域営農組織を確立し、耕作放棄地解消や後継者育成、営農組織等の施設整備を推進するための基金です。
	過疎地域自立促進特別事業基金	3,847万円	平成22年に過疎地域の指定を受けたことから、過疎脱却を目指して地域の自立促進を図る事業に充てるための基金です。
	災害対策基金	813万円	災害対策に必要な経費の財源に充てるための基金です。
	公共施設等整備基金	6億344万円	公共施設等の建設や改修などに必要な経費の財源に充てるための基金です。
基 定 額 運 用 金	森林環境譲与税基金	113万円	間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に充てるための基金です。
	奨学基金	989万円	経済的に就学が困難な方、近代的な農業経営を行おうとする方に資金を貸し出すための基金です。
	土地開発基金	1億6,964万円	必要な公共用地を先行して取得するための基金です。
合 計		20億8,292万円	

■ 町の借金（町債の状況）

町が事業を行うにあたり、財源が不足する場合、特に一時に多額の資金を必要とするときに、外部（政府、地方公共団体金融機構、民間金融機関など）から資金調達するために負担する債務で、その返済が一会計年度を超えて行われるもの（将来にわたって少しずつ返済していくもの）を地方債（町債）といい、いわゆる町の借金です。将来、便益を受けることとなる後世代の住民と現世代の住民との間で負担を分散し、公平性を持たせることを可能としています。

町債残高の推移（各年度末）

会計区分	年度	H28	H29	H30	R1(見込)	R2(見込)
地 方 債	一般会計	43億9,724万円	42億8,039万円	41億9,429万円	41億2,786万円	40億4,925万円
	農業集落排水事業	15億6,670万円	14億3,776万円	13億573万円	11億7,051万円	10億3,374万円
	ガス事業	5億1,578万円	5億1,737万円	5億1,812万円	5億3,737万円	5億5,083万円
	合 計	64億7,972万円	62億3,552万円	60億1,814万円	58億3,574万円	56億3,382万円

農業集落排水施設の整備、老朽化したガス管の入れ替え、小中学校施設の建設事業などに対して借り入れを行ったことにより、令和元年度末の地方債借入金残高（見込額）は、58億3,574万円となっています。残高や償還額（返済）が多いと、町の財政運営は厳しくなるので、借入額と返済額のバランスを考慮し、借入金残高が過大にならない管理が必要です。

■ 町の財政状況の指標（指数）

※下記の数値は平成30年度決算から算定した数値

財政力指数	財政力を示す指数で、この指数が高いほど財源に余裕があると言えます。財政力指数が1を超えると地方交付税が交付されなくなります。	0.46
経常収支比率	町税や地方交付税など、毎年決まって入る収入に対して、人件費や扶助費など、毎年決まって支出されるお金の割合を示す指標です。	86.8%
実質公債費比率	借金の返済に費やした額が、町の財政規模のうちどれだけの割合を占めるかを指標化したものが実質公債費比率です。	6.8%
将来負担比率	借入金や将来支払うことになる負担金などが、現時点でどの程度になるかを示す指標で、将来財政を圧迫する可能性を比率で示すものです。	19.0%

令和2年4月

発行／編集 長南町／財政課 TEL0475-46-2112

〒297-0192 千葉県長生郡長南町長南2110